



## 目黒区健康福祉部 部長 加藤芳照

もえぎの会の皆様、こんにちは。目黒区健康福祉部長の加藤です。皆様には、日頃から目黒区の福祉行政に多大なるご理解とご協力をいただいております。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

もえぎの会が展開している事業は、皆様の長年にわたる活動により、着実にその実績を伸ばし、堅実に地域に定着してきております。以前いただいた資料などを拝見しますと、授産施設のしいの実社では、販売努力や製品開発等により売り上げが大きな伸びを示していることが分かります。また、建設計画時にたいへんご苦勞されたグループホーム沙羅の家も、昨年の開設以降、安定して運営がなされております。これらは、利用者の皆さん、現場の職員の皆さんの地道な努力と日頃の工夫が成果に結びついたものであるとともに、後援会をはじめ地域の皆様、関係者の皆様との連携・協力を大事にされてきた会の取り組みの結果であると理解しております。さらに、今年度は10%増の売上目標を掲げるなど、皆様の意気込みが直接伝わってくるようでたいへん心強く感じております。

さて、昨年、障害者自立支援法が施行され、サービスを受ける利用者もサービスを提供する事業者とともに環境が大きく変化してきております。このような変化が激しく、厳しい状況のときにこそ、事業者にとっては、将来を見据えた中長期の方針を持って、経営基盤の整備に取り組むことが重要であると存じます。お聞きしたところによると、もえぎの会では、既に新体系への移行について具体的な検討に入り、これに併せてグループホームや通所授産施設についても、新たな事業展開による経営基盤の拡大を計画しているとのこと。



状況変化への堅実な対応や積極的な経営など、まさに広報誌名「萌木」の名にふさわしい取り組み姿勢であり、目黒区の障害福祉分野の牽引的役割を果たされてきた法人として、今後もなくてはならない存在であると思えます。



区といたしましては、これまで以上に皆様と十分に情報・意見交換をしながら、障害福祉施策の充実に努めてまいりたいと存じます。

区行政の大切なパートナーとして、社会福祉法人もえぎの会のますますのご活躍に期待しております。



## しいの実社より

### しいの実社の中でおこなう仕事

【製菓】 お馴染みのコーンクッキー、ハーブ、チュイールに加え、マドレーヌやパウンドケーキなど、新製品も考えながら社員の皆さんと共に一生懸命に取り組んでいて、たくさんの注文をいただきます。コーン付けや仕込み・箱詰め・包装などの仕事を細かく分類し、ひとつひとつ丁寧にを行います。



【パン】 すべて天然酵母を使用したパンは、しいの実社の店舗のほか、区内の幼稚園や養護学校でも販売を行っており、売上もぐんぐん上がっています。季節限定品もとても好評です。添加物や保存料を一切使用していないので、安心です。地域の方々をはじめ、沢山のお客様に食べていただけるよう、頑張っています。



【織物】 一段一段丁寧に織り上げたすべて一点ものの製品です。糸を選び、素材を大切に作り上げた「ウール製品」「シルク製品」「さき織り製品」はどれも独特の風合いで好評です。また「草木染め製品」は、絞りから染め上げまで手仕事で行っています。



【クラフト】 手漉きの製品はとても綺麗な仕上がりではがきやカード、しおりなどを作っています。特に押し花製品に力を入れており、現在は料亭に箸袋を定期納品しております。他にはマグネットや木工製品、さらに、ストラップ等の新しいビーズ製品も順調です。

【受託】 現在、主にねじ、宅配すしの箸の袋詰めの仕事をしています。

ねじ、箸の袋詰め共に定期的に仕事が頂ける為、仕事が途切れる事はほとんどないです。企業相手の仕事であり、時には、大量の注文が来ることもあり、残業してこなすこともあります。そのような慌ただしさの中でも皆いきいきとして表情で仕事に取り組んでいます。



### ホームページ開設

(アドレス <http://www.moeginokai.jp>)

新たにホームページを開設致しました。以前のをベースにしていますので、順次更新していきます。「沙羅の家」の情報などは新たに加わりました。地域の方にも、そして、日本中の多くの方にも、目黒区の私たちの「もえぎの会」「しいの実社」「沙羅の家」を知って頂くことを願うとともに、ボランティアさんなど、新たな出会いの接点にもなればうれしいと思います。

今回リニューアルしたことで活発な発信をし、活動をより良いものにしていきたいと考えております。

### 07年度出張販売ベスト3

今回、各部門における種別売上数ランキングを実施しました。

製菓部門	第1位	マドレーヌ(¥100)	935個
	第2位	コーンクッキー(チョコチップ)	215個
	第3位	コーンクッキー(オレンジピール)	205個
*コーンクッキーは内容量80g(¥270)			
パン部門	第1位	ごぼうサラダパン(¥150)	146個
	第2位	クリームパン (¥120)	130個
	第3位	桜あんぱん (¥120)	126個
クラフト部門	第1位	マグネットクリップ(¥240)	69個
	第2位	押し花葉書 (¥110)	65枚
	第3位	霧染め葉書 (¥110)	41枚
織物部門	第1位	ガーゼスカーフ(¥500)	71枚
	第2位	ハンドタオル (¥300)	25枚
	第3位	コサージュ (¥800)	20枚

(対象期間:4月~9月、対象販売:区役所、幼稚園、養護学校、イベント)



### 社員旅行の報告 (河口湖温泉の旅)

9月20日(木)から1泊2日で河口湖方面に社員旅行に行ってきました。

総勢54名が、社会生活の順応体験研修を兼ね、観光、温泉、宴会を満喫した旅になりました。

今回の旅行実施にあたり、目黒区障害者団体「懇話会」と後援会から補助金をいただきました。心より感謝申し上げます。社員には、楽しい思い出になり、また、仕事に励む英気を養いました。



## 後援会より

# 萌木



## 後援会 法人会員の紹介

### 天ぷら割烹 川さき

しいの実社から歩いて5分程の所にあり、土曜開所日のランチでよくお世話になっているお店です。2004年にそれまで店長として働いていた天ぷら店を譲り受けて念願の独立をしました。



お店での社員の印象を伺うと、「料理が出来るまで静かに待っている」「皆、好き嫌い無く残さずにきれいに食べてくれる(それもアツという間の人もいて・・・)」との事。多分、胡麻油4、サラダ油6の割合の油で揚げた香りの良い新鮮な天ぷらが食をそそのめるのでは？ 奥様からは「付き添いのスタッフさんの工夫のお陰で注文の品をそれぞれの社員さんに楽に配膳できています」との事です。今まで特に障害者との接点が無かったというご夫婦ですが、ごく自然に対応して頂いている様子が良くわかりました。

ご主人の趣味は「大相撲」。毎年の初場所には必ず観戦に出かける程のファンで、特にモンゴル出身の力士たちを応援しているとの事で、先頃朝赤龍関をしいの実社にお迎えした社員たちとは話が弾みそうです。調理師学校の同級生だった奥様と二人で切り盛りするお店は家庭的な静かな雰囲気、夫婦や家族連れ、又は女性一人にもぴったりの印象でした。



住所: 〒152-0004 目黒区目黒本町2丁目4-5 電話: 03-3716-0035

<http://tel37160035.hp.infoseek.co.jp/>



## 三協株式会社 (ビルメンテナンス)

にぎやかな学芸大学駅西口商店街の一角を曲がると会社の看板が目に入ってきます。社長の三田さんにはもえぎの会設立時より評議員としてお世話になり、外部の視線からアドバイスをいただいています。業務はビルメンテナンス一般(清掃、設備、内装・外装)。三田社長は青年会議所の委員長としてご活躍。知的障害者とは直接接触はなく、今でもどのように声をかけたらいいのかわかりませんが、何か力になれることがあれば...というお気持ちだとか。しいの実社の様子をご覧になり、仕事の一つ一つとても丁寧なこと、種類の豊富さなど様々な工夫が見られ、職員の熱意と仕事ぶりにもお褒めをいただきました。



課題として地域とのかかわりが非常に薄い点をあげられました。町内のお祭りやゴミ拾い、住区、子供会のイベントに積極的に参加し、提案をして行く事が大切と強調されていました。

住所: 〒152-0004 目黒区鷹番2丁目19-21 電話: 03-3712-3361

### 南雲商店(梱包、資材販売)

旧区役所近くの商店街:パッケージや包装紙、梱包資材などが店先に所狭しと並ぶお店、そこが南雲商店です。お店に入ると背の高い白髪の社長さんと、同じく長身の息子さんが丁寧に対応してくださいました。お付き合いの歴史は長く、しいの実社が原町保育園の4階で作業所を構えていた頃、クッキーの梱包、クッション材をお願いして以来です。社員が店先を通ったり、お店に来たりすると気にかけてくださるそうです。職員を、「いつも時間を見ては社員に声をかけ、スキンシップをとっている」と、とても褒めてくださり、なによりも利用者というよりも「しいの実社」の「社員」、一人の社会の一員として尊重している点を評価してくださいました。南雲さんは、障害を持つ人達の仕事につながる事が何かないか、と気をとめてくださり、社会の一員として活躍してくれることを願っている、とおっしゃっていました。長年のしいの実社のサポーターです。



住所: 〒152-0004 目黒区中町2-30-10 電話: 03(3716)8656



### しいの実まつりのお知らせと献品のお願い

今年は、例年の11月の最終土曜日でなく、11月23日の勤労感謝の日に開催いたします。スタッフ・社員一同お待ちしておりますので、ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。なおバザーを企画しておりますので、献品に、ご協力をお願いいたします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古着・古本



**お友達、親類、お知り合いにもえぎの会の後援会をご紹介ください。**

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

お問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

\* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。



# グループホーム沙羅の家

# サ 朗 木

玄関前の沙羅の木

## 《沙羅の家1年を振り返って》

昨年、自立支援法へ移行する過渡期の慌ただしいなかオープンした沙羅の家ですが、早いもので8月無事に1周年を迎えることができました。おかげさまで大きなトラブルなどなく、利用者の皆さんはマイペースに沙羅の家で生活をしています。1年が経ち生活に慣れてきたこともあり、利用者の皆さんには負担のない程度にですが少しずつお手伝い(共有の洗濯物片付け、配膳、簡単な調理補助など)などしてもらい、自分たちで出来ること、自分たちの生活を意識してもらえるようにしています。

また、自立支援法の施行に伴いケアホーム運営は厳しいものが予想され、見通しがたたないこともあって、昨年のオープン当初は沙羅の家スタッフにしいの実社スタッフの協力を得ながら運営してきましたが、今年4月からは新しいスタッフやボランティアさん(夕食作り)やパートさんにも加わっていただくことで沙羅の家に関わる人も増えてきました。

今後も利用者さんの安定した生活をサポートすることを中心に、無事に2周年を迎えられるように支援していきたいと思ひます。

沙羅の家スタッフ 長谷



## 《初めての「外食」イベント》 \*サイゼリア

6月に沙羅の家のメンバーでファミリーレストランへ外食に出かけました。これまで「お楽しみイベント」として沙羅の家でピザのデリバリーや仕出し弁当を頼んだことはありましたが、しいの実社から帰宅後に外に出ての食事ははじめてでした。こちらの説明が上手く伝わらず、出発時に混乱しましたが、無事にみんなで食事を取ることができました。レストランではスパゲッティやハンバーグなど各自好きな料理を選び、デザートも食べることで満足だったことでしょう。帰宅後には「また行きたい」と感想もあったのでまた企画したいと思ひます。



## 編集後記

秋の気配を感じるようになり、もえぎの会として1番活動的な季節になりました。充実した季節になるように進んでいきたいと思ひます。(渡辺)

発行; 社会福祉法人もえぎの会

住所; 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部) 電話; 03-5724-7153

E-mail shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

